キャンドルのつどい【自主活動】

1　活動のねらい

活動を共にした仲間と炎を囲み，協力することの大切さを考えたり，自己を見つめ直したりするふりかえりの機会とします。

2　活動の概要

闇を照らすろうそくの炎の神秘的な灯りの中で，火を迎える・送るセレモニーや炎を囲み演じるスタンツとレクリエーションをとおして，参加者の仲間意識を深め，感動と思い出を刻む活動です。

3　人数・時間・場所

(1)　**人数**　　２００名程度
(2)　**期間**　　通年
(3)　**時間**　　１時間３０分
(4)　**場所**　　体育館・ホール
　　研修室（LEDキャンドル使用）

4　指導について

活動は，団体の自主活動となります。

なお，希望する団体は，進行・レクリエーション等について，指導員を依頼することができます。依頼する場合は，利用申込書と一緒に「指導依頼申込書」を提出してください。

指導料は，指導員１名につき7,７００円（１時間３０分）です。支払いは，活動終了後に現金，コンビニ支払い又は銀行振込のいずれかで支払いをしてください。

5　準備する物

区　分	内　容	備　考
団　体	・ろうそく（色付きは不可）・マッチ等 ・営火長の衣装 ・音楽ＣＤ等 ・懐中電灯 ・「指導依頼申込書」（指導依頼の場合）	・ろうそくは売店で購入可（小：10円，中：250円） ・（LEDキャンドルの貸出可能，大６個，小200個） ・利用申込書と一緒に提出 ※「利用のてびき」参照 ＬＥＤキャンドル
交流の家	・燭台（キャンドル用２，LED用２） ・ブルーシート（燭台の下に敷く） ・音響設備（ＣＤラジカセ，マイク等）	・キャンドル用燭台 体育館燭台（大）釘300本 ホール燭台（中）釘300本 ・LEDキャンドル用燭台 ホール燭台（大）4段 研修室燭台（中）4段 ろうそく用燭台

6　引率者の役割分担

項　目	内　容
安全対策	火の取り扱い，後片づけに注意を喚起する
事故発生時の対処	けがや事故が発生した場合は，直ちに事務室に連絡する
後片づけの徹底	床に落ちたろうそくをとる

7　活動の流れ

活動の流れ	内　容
会場の準備	・会場にブルーシートを敷き，燭台を運び，ろうそくを立てる ・音響機器の使用方法を確認
活動実施	・キャンドルのつどい（儀式，レクリエーション等）
活動の終了	・会場の後始末 ・事務室に終了した旨を連絡 ・借用物品の返却 ・講師を依頼した場合は，指導料を支払う

8　実施上の留意点

(1)　火災ややけどにならないように注意してください。
(2)　実施後は，完全に消火したことを確認してください。

キャンドルのつどい展開例

1　役割分担

営火長（団体の長）	あいさつ，講話等を行う
司会者	全体の司会
点火係	元の火をろうそくに点火する

2　展開例

⑴　第１部（静かな雰囲気の中で）

項　　目	内　　容
①開会宣言	・司会者によるはじめのことば
②迎火の歌	・団体で考えた歌を静かに合唱，またはＢＧＭ（「遠き山に日は落ちて」等）を流しながら，点火係がろうそくに火をつける
③営火長のことば	・火にまつわる話等
④歌	・団体で考えた歌を静かに合唱。（「営火の祈り」等）
⑤第１部終了宣言	・司会者は第１部の終了を宣言 ・火を消し，会場の灯りをつけて，第２部へ

⑵　第２部（明るい雰囲気の中で）

①　全体での歌やゲーム，ダンス等を中心に計画する ②　グループ毎で出し物（スタンツ）をするよう工夫しても良い ③　第２部が終わるころ，燭台のろうそくに点火

⑶　第３部（静かな雰囲気の中で）

項　　目	内　　容
①集　　合	・隊形を整え，気持ちを静める ・司会者は，第３部の始まりを宣言
②献　　詩	・誓詩係は，準備していた詩を朗読
③営火長のことば	・キャンドルのつどいをとおして，伝えたいことを炎に託して話す
④歌	・「今日の日はさようなら」等を静かに合唱しながら，ろうそくの火を少しずつ消す
⑤閉会宣言	・全ての火が消えたら，つどいの終了を告げる
⑥諸 連 絡	・後始末等の連絡

3　参考

営火長のことばの例です。団体の性格や利用の目的に合った内容を考えてください。

⑴　第１部

今，穏やかに陽が沈み，私たちは，静かな夜のとばりに包まれました。平和のすばらしさをこんなに身近に感じることができて，本当に幸せです。今私たちの前で揺れている炎は，岩手山に住む火の神からいただいたものです。はるか昔から人類の発展を見守ってきた火について，この静かな夜にもう一度考えてみてください。これからこの聖なる炎を中心に心の輪を広げ楽しく有意義な時間を過ごしましょう。

⑵　第３部

もう一度，じっくりと炎を見つめてください。明るく，暖かい火です。優しくみなさんを照らし出してくれた火です。しかし，もしみなさんが粗末に扱えば，大きな炎となって怒り狂います。反対に，丁寧に扱えば，今のように明るく優しくみなさんを包んでくれるのです。みなさん，じっと炎を見つめましょう。そして，これまでの自分を振り返ってみましょう。明日から自分で頑張りたいことを思い浮かべてください。心の中で，「頑張るぞ」と誓ってください。みなさんの行く手には，辛いことや苦しいことが待ちかまえているかもしれません。しかし，くじけずに強く明るく生きていきましょう。今宵のこの火が，みなさんの前途を明るく照らしてくれることを祈ります。